

2021年 9月

あさかぜ保育園子育て支援だより 9月

暑い夏が終わり残暑厳しい9月が始まりました。

ところで今年の8月前半は災害級の雨が降り続きましたね。みなさま、大丈夫でしたでしょうか？中には、避難された方もいらっしゃるのではないのでしょうか。もし、影響を受けられた方がいらっしゃいましたら、心よりお見舞い申し上げます。

コロナに関しても一向に治まる気配がありません。一生懸命予防はしていますが誰がうつっても、おかしくない状況になっています。一日も早い収束を願い、引き続き園でも最大限の感染予防に努めていきたいと思っております。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

8月は園の子どもたちも、長雨と酷暑でプールあそび・戸外あそびもままならない状況でしたが、保育士と一緒に部屋でできる遊びを楽しんでいたようです。

ご家庭では、いかがでしたでしょうか？ コロナの関係で入場制限のあるイベント・県をまたいでの遠出はやめましょうとの県からのお知らせ。出来ないことだらけの夏では無かったのではないのでしょうか。しかし、保護者のみなさまは色々工夫されて、きっと子どもたちと「楽しい」を見つけて遊ばれたかな・・・。

9月に入り子どもたちは、園庭で虫採りをしたり、鉄棒・マット・なわとびを使って体をしっかり動かし、元気良く遊ぶ姿が見られるようになりました。

子どもたちは、色々な虫・とかげ・かなへび・カエルなど大好き！！お互いに、虫カゴの中を見せあって歓声をあげたり、一緒に図鑑を見て興味津々です。しかし、小さな生き物にも大切な命があることを知らせ、虫カゴの中に入れっぱなしにしないで、必ず逃がす事！を話しています。（ご家庭でも命の大切さを知らせてくださいね）

今月、私が書きたかったのは「小さな命」についてです。これは、私のお友だちとライン電話で聞いたことです。

「697g」の命についてです。友だちの娘さんが、早産で出産された子どもの体重です。思わず私も大丈夫？と聞き直したぐらいです。みなさん想像してみてください。

家庭で普通購入する砂糖1袋が1kgです。それより小さいのです。

その方は、コロナの関係で行くことも出来ず、思わず仏壇に手を合わされたそうです。仏様に「助かる命なら、どうぞお守りください。助からない命ならどうぞ御仏様の腕におつれください。」と一心不乱にお祈りされたそうです。

お祈りのおかげか、現代医学の発達か母子ともに助かったそうです。写真で見せていただきました。小さな小さな体は、色々な線に繋がれ体温が下がらないように保育器の中でも銀色の布に巻かれ、しっかり動いています。娘さんは、毎日母乳を持参し様子を見にいかれたそうです。きっと、娘さんは御自分を責めたと思います。もう少し、用心すれば……。もう少し、もう少しして自問自答されたのではないのでしょうか。最近の医療はすごいですね。そのお子さんは、無事に育っていています。看護体制も素晴らしいです。毎日の様子を、お母さんと交換日誌で知らせてくださったそうです。母子の愛着が失われないように！

退院するまで4ヶ月かかりました。それまでに、視力の検査・MRIで脳の発達検査等など行われたそうです。検査を1つクリアするたびに両親・周りの家族は安堵されたそうです。いまは、表情豊かに育ち、愛情をたっぷりそそがれ毎日をすごされているようです。

私この話を聞き、このお子さんは、この御両親のもとに行く運命だったように思います。子どもは、親を選べないと言われていています。もしかしたら、あの世からこの御両親を選んできたのかもしれない。

こうなると、先生何かの宗教にはまってる？と思われるかもしれません。私は壺や水晶玉や石は買っていません（もちろん売っていませんよ 笑）。皆さん、もう一度我が子が産まれた時を思い出してください。産みの苦しみの後にきっと、「産まれてきてくれてありがとう！」って思われたのではないのでしょうか。そして、幸せな気持ちに満たされたのではないのでしょうか。大きくなるまでには、いやいや期・反抗期も沢山あるでしょう。子育ては山あり谷ありだと思います。その時は、この子が産まれてきた時の痛み・喜び・感謝を思いだしてください。きっと抱きしめたくくなりますよ。（抱きしめたくなってください）もしかしたら、この子は貴方がたを選んできてくれたのかもしれないよ……。

今月は、ここまで……。

子育てが終わった ばあ～ばより

